

W w	R r	Y y	M m	H h	N n	T t	S s	K k	大文字・小文字	
わ	ら	や	ま	は	な	た	さ	か	あ	A a
を	り		み	ひ	に	ち	し	き	い	I i
ん	る	ゆ	む	ふ	ぬ	つ	す	く	う	U u
	れ		め	へ	ね	て	せ	け	え	E e
	ろ	よ	も	ほ	の	と	そ	こ	お	O o

ローマ字表
ローマ字でかきまじょう。

教材5-1(1)

ローマ字

年

組

番名前

年

組

番

名前

一 次のひらがなの言葉をローマ字の小文字で書きましょう。

(ア) なまえ
.....
.....
—————
.....

(イ) せかい
.....
.....
—————
.....

(ウ) うみ
.....
.....
—————
.....

(エ) おわり
.....
.....
—————
.....

二 県の名前をローマ字で書いてみよう。

人の名前や地名は、はじめの字を大文字で書きます。



.....
.....
—————
.....

《先生方へ》

ローマ字には訓令式とヘボン式の2つがあります。「学校では訓令式表記を基本としていますが、実社会ではヘボン式表記が一般的で、多く使われています。」

【参考】

- 撥音：原則として撥音「ん」は「n」で表す。
例：genki <元気>
- 促音：原則として、促音は直後の子音字を繰り返す。
例：kippu <切符>
- 長音：(1) 母音字の上にサーカムフレックス(山形)をつける。(訓令式)
例：Kyôto <京都>
- (2) 母音字の上にマクロン(横棒)をつける。(ヘボン式)
例：Kyoto <京都>



年

組

番

名前

一次のひらがなの言葉をローマ字の小文字で書きましよう。

⑥ かみ

.....
.....

.....

⑦ リス

.....
.....

.....

⑧ ものさし

.....
.....

.....

⑨ あめ

.....
.....

.....

⑩ ねこ

.....
.....

.....

① いす

.....
.....

.....

② いぬ

.....
.....

.....

③ かに

.....
.....

.....

④ くつ

.....
.....

.....

⑤ うま

.....
.....

.....

年

組

番

名前

一次のローマ字をひらがなで書きましょう。

①
a s a

②
k a n b a n
k a m b a n (へボン式)

③
k a z o k u

④
s a k a n a

⑤
a m e n b o
a m e m b o (へボン式)

⑥
m e d a k a

⑦
y a k u s o k u

⑧
o n s e n

⑨
k a g i

⑩
u s a g i

年

組

番

名前

一 次のひらがなの言葉をローマ字の小文字で書きましよう。

① せんぷうき

.....
.....

② どうぶつ

.....
.....

③ にっき

.....
.....

③ こんや

.....
.....

④ がっこう

.....
.....

■ のばす音は、「[^]」(のばす)を使って書き表します。

どうろ→

.....
d[^]o r o
.....

算数→

.....
s a n s [^]
.....

■ つまる音は、「っ」の次の音のはじめの字を重ねて表します。

切手→

.....
k i t t e
.....

■ 「ん」(はねる音)のあとに、
a · i · u · e · o · y
がつづくときには、おん
きり(切るしるし)「 , 」
を入れて書きます。

ほんや→

.....
h o n ' y a
.....

年

組

番

名前

一次のローマ字をひらがなで書きましょう。

① densya

② dōbutu
dōbutsu (へボン式)

③ nikki

④ gakkō

⑤ kutu
kutsu (へボン式)

⑥ kitte

⑦ honya

⑧ genki

⑨ namae

⑩ kyūsyoku